

# 高校公民プリント（過去問類似）

## 青年期と現代社会 No.4

名前

得点

/10

**問1** 現代の科学技術社会においては、環境問題や感染症対策、食品の安全性など、不確実性を伴う課題が多く存在する。これらの課題に対し、専門家が一方的に情報を発信するだけでなく、市民、行政、事業者などの多様な関係者が、相互に情報や意見を交換し、理解を深め合うことで合意形成や信頼構築を目指す活動を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. クライシスマネジメント      2. リスクマネジメント      3. リスクコミュニケーション      4. リスクアセスメント

**問2** ICTの進展は、対面的関わりが困難な状況でも非対面的な関わりを可能にし、新たな公共空間の形成に寄与している。しかし、情報通信技術を使いこなせる人とそうでない人との間に、経済的・社会的な格差が生じることが懸念されている。この格差を指す言葉は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. デジタル・デバイド      2. エコー・チェンバー      3. フィルター・バブル      4. デジタル・タトゥー

**問3** アメリカのジャーナリストであるリップマンが指摘した、メディアが提供する情報などによって人々の頭の中に形成される、単純化された固定的なイメージや先入観を指す言葉は何か。 (2017年 全国公立入試 類似)

1. ジャーナリズム      2. ステレオタイプ      3. サブカルチャー      4. アイデンティティ

**問4** 欲求不満（フラストレーション）に直面した際、理性的・合理的な解決や防衛機制による無意識の調整を図ることなく、他者への八つ当たりや暴力などの短絡的かつ衝動的な行動によって直接的に欲求を解消しようとする反応を何というか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. 反動形成      2. 迂回反応      3. 近道反応      4. 攻撃行動

**問5** 現代の福祉政策や人権擁護において重視されている、障害のある人や高齢者が健常者と区別されることなく、社会の中で当たり前のように暮らせる環境を整えるべきであるとする理念を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. メインストリーミング      2. エンパワメント      3. ノーマライゼーション      4. ウェルビーイング

**問6** 人間の欲求は、生理的欲求や安全の欲求といった低次のものから、他者から認められたいという承認の欲求、そして自らの可能性を最大限に発揮しようとする最も高次の欲求へと、5つの階層をなして発展していくという「欲求段階説」を唱えたアメリカの心理学者は誰か。 (2023年 全国公立入試 類似)

1. マズロー      2.フロイト      3. アドラー      4. ピアジェ

**問7** 現代社会における課題探究や合意形成の過程において、多様なアイデアを創出するために用いられる手法の一つ。参加者は他者の意見に対する批判を一切禁止され、質よりも量を重視して自由奔放に意見を出し合うことで、相互の連想作用による新たな着想を期待する共同思考の技法を何というか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. パネルディスカッション      2.ブレインストーミング      3.ブレインライティング      4. ロールプレイング

**問8** 学生が在学中に自らの専攻や将来の進路に関連した就業体験を行う制度。職業適性の把握や、働くことへの具体的なイメージ形成を促す教育的効果が期待されている、この制度の名称を何というか。 (2010年 全国公立入試 類似)

1. フレックスタイム      2. アウトソーシング      3. ワークシェアリング      4. インターンシップ

**問9** 近年の日本において、高齢化や未婚化の進行を背景に急増しており、全世帯に占める割合が最も高くなっている世帯区分を何というか。この世帯の増加により、かつて主流であった夫婦と未婚の子どもからなる家族形態の割合は減少傾向に転じている。 (2019年 全国公立入試 類似)

1. 単独世帯      2. 親族世帯      3. 普通世帯      4. 一般世帯

**問10** 1990年代後半にイギリスで誕生し、哺乳類において受精卵以外の細胞からでも遺伝的に同一の個体を作製できることを世界で初めて実証した、体細胞クローン技術の象徴となった羊の名称を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. クローン技術規制法      2. ヒトゲノム計画      3. クローン羊ドリー      4. ゲノム編集技術

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	<b>答え 3</b> <b>リスクコミュニケーション</b>	科学技術の進歩に伴う不確実なリスクに対しては、専門家による客観的な分析（リスク評価）や、それに基づく政策決定（リスク管理）だけでは不十分であり、市民やメディアを含む多様な関係者が双方向で情報や意見を交換し、相互理解を深めるプロセスが重要視される。これにより、社会的な合意形成や信頼関係の構築が図られる。
問2	<b>答え 1</b> <b>デジタル・デバイド</b>	デジタル・デバイド（情報格差）は、ICT（情報通信技術）の利用環境や活用能力の違いによって生じる、社会的・経済的な格差のことである。非対面的関わりが重視される現代社会において、この格差の解消は公平な公共空間を維持するために不可欠な課題となっている。
問3	<b>答え 2</b> <b>ステレオタイプ</b>	印刷の鉛版（ステロ版）に由来する言葉で、複雑な現実を理解する際に、人々が頼りがちな「あらかじめ用意された固定的なイメージ」を指す。リップマンは、人々がこのイメージ（擬似環境）を通して現実を理解しているため、メディアの情報操作によって世論が容易に誘導される危険性があると警鐘を鳴らした。
問4	<b>答え 3</b> <b>近道反応</b>	欲求不満が生じた際、人間は様々な方法で適応を図る。理性的・合理的に解決しようとする「合理的解決」や、無意識のうちに心の安定を保とうとする「防衛機制」とは異なり、衝動をコントロールできずに他者への暴力や八つ当たりといった短絡的な行動に走ることを近道反応（ショートカット・リアクション）と呼ぶ。
問5	<b>答え 3</b> <b>ノーマライゼーション</b>	すべての人が障害の有無や年齢にかかわらず、社会の一員として通常の生活を送る権利があるという考え方である。この理念に基づき、段差の解消（バリアフリー）や、誰もが使いやすいデザイン（ユニバーサルデザイン）の導入などが進められている。
問6	<b>答え 1</b> <b>マズロー</b>	人間の欲求が低次から高次へと5つの階層をなして積み重なるという「欲求段階説」を提唱したのは、アメリカの心理学者マズローである。彼は、人間は自己実現に向けて絶えず成長する存在であると捉え、人間性心理学の分野において大きな影響を与えた。
問7	<b>答え 2</b> <b>ブレインストーミング</b>	課題解決やアイデア創出の初期段階において、批判を禁止し、自由な発想で多くの意見を出し合う手法はブレインストーミングと呼ばれる。他者の意見を否定しないことで、参加者が萎縮せずに多様な視点からアイデアを提示できる環境を整え、それらを組み合わせることで独創的な解決策を導き出すことを目的とする。
問8	<b>答え 4</b> <b>インターンシップ</b>	在学中に実際の職場で就業体験を行う制度はインターンシップと呼ばれる。学生が自らの適性や将来の進路について考える契機となり、職業観の育成に寄与する。ワークシェアリングは仕事を分け合うことで雇用を維持・創出する制度であり、これとは異なる。
問9	<b>答え 1</b> <b>単独世帯</b>	一人暮らしの世帯は統計上、単独世帯と呼ばれる。高齢化による独居高齢者の増加や、未婚化・晩婚化の進行に伴い、単独世帯の割合は急増しており、現在では全世帯の中で最も高い割合を占めるに至っている。これにより、高度経済成長期に定着した核家族の世帯割合は減少傾向を示している。
問10	<b>答え 3</b> <b>クローン羊ドリー</b>	1996年にイギリスで誕生したクローン羊ドリーは、哺乳類の体細胞からクローン個体を作製することに成功した世界初の例である。この成功は、分化した体細胞の核が初期化可能であることを示し、将来的に患者自身の細胞から拒絶反応のない移植用臓器を作製する再生医療などの研究に大きな道を開いた一方で、クローン人間の作製につながる懸念など、生命倫理上の大きな議論を巻き起こした。